

令和4年度第1回花巻市文化財保護審議会 会議録

1 開催日時

令和4年6月20日（月） 午後2時～午後3時30分

2 開催場所

石鳥谷総合支所3階 大会議室

3 出席者

(1) 委員 6名

木村清且委員、中村良幸委員、中嶋奈津子委員、大原皓二委員、梅原無石委員、大石雅之委員

(2) 事務局 7名

佐藤勝教育長、
文化財課 鈴木直明課長、伊藤真紀子文化財課長補佐兼文化財係長、
佐藤幸泰埋蔵文化財課長補佐、橋本征也埋蔵文化財係長、
酒井宗孝文化財専門官、小原尚美事務補助員

(3) 傍聴者 なし

(4) 報道関係 なし

4 内容

(1) 協議

- ア 会長及び副会長の選任について
- イ 令和4年度花巻市文化財関係事業計画について
- ウ 花巻市指定天然記念物「奥州街道名残りの松」の現状変更等許可申請に係る報告について
- エ 花巻市指定史跡「花巻城本丸跡」の現状変更等許可申請に係る意見について

(2) その他

5 議事録

〔職員紹介〕

〔机上配付にて委嘱状交付〕

〔委員紹介〕

(1) 開 会 (進行：鈴木課長)

[審議会成立報告 (委員6名出席・4名欠席)]

(2) 挨拶

(佐藤教育長) 先週、梅雨入りしたなと思ったらもうすっかり真夏のような暑さになり、本当に夏本番のようになりましたけれども、今日も委員の先生方には、お忙しい中御出席をいただき、ありがとうございます。

コロナ感染者はまだ出ているという状況で、安心は出来ませんが、ぜひ、このまま好転して本来の事業ができればいいなと思っております。文化財保護の関係についても、この2年間、足かけ3年間、大変な制約を受けております。その結果、各種の調査や研究、様々な会合、あるいはイベントも持てないということで、何とか元に戻しつつ、文化財保護事業というものをしっかり定着させたいなと思っております。特に民俗芸能、あるいは年中行事、そういったものが2年も3年も滞ってしまうと、これからの後継者育成ということについても、大変大きな影響があるのではないかとこのことを心配しております。何とか感染防止の対策を講じながらも、ぜひ元に近い形で何とかやりたいなと思っております。今日は議題として四つの議題を用意させていただきました。それぞれ専門の先生方のお気付きになっている点、あるいは今こういったことで困っているとか、その辺についても、遠慮なく忌憚のない御意見をいただきまして、今年度の文化財保護に関する事業を進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(3) ア 会長及び副会長の選任

(鈴木課長) 会長選任について、どのような方法がよろしいですか。事務局案でよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

(鈴木課長) 事務局案を申し上げます。会長は大原皓二委員にお願いしたいと思ひます。続きまして、副会長の選任ですが、こちらも事務局案でよろしいですか。

(異議なしの声)

(鈴木課長) 副会長は木村清且委員にお願いしたいと思ひます。異議がなければ、拍手にて承認お願ひします。

(拍手にて承認)

大原会長、木村副会長、一言ご挨拶をお願いいたします。

〔会長挨拶(大原会長)〕

私ごときが、このようなお席につかせていただくとは夢にも思っておりませんでした。ご指名を頂戴しましたので一言ご挨拶申し上げます。私は、40年間ほど民間会社のスリッパ並べをしておりました。辞めてすぐに、義理の叔父にあたる花巻史談会会長の鎌田雅夫氏の誘いを受けて、現在は花巻史談会の編集担当をさせていただいております。40号から編集をしまして、今回47号が出ました。50号まで続けるかはわかりませんが、部門的にも専門知識をようしないものがこのような席に立たせていただきましたが、何かと皆様のご指導をいただきながら務めさせていただきます。よろしく願いいたします。

〔副会長挨拶(木村副会長)〕

長く副会長をやっているわけですが、年を重ねましていろいろ教わりました先生方が亡くなり非常に残念な思いをしているのですが、専門の方が亡くなった場合の引継ぎをどうするのか。実は私が関わった市指定の建造物が9件ほどあります。山門等様々ありますが、そういったものを教育委員会さんでは別冊になっています。これのデータが全てカードでありますので、コメントでまとめて、どなたが見ても次の世代に受け継げるような仕事を少しでもやっておりますけれども、そういうことを目指してやっていきたいと思っておりますので、建築はわかりますが、ほかの分野はわからないので、諸先生方にご指導やアドバイスをいただいて、まとめていきたいなと思っております。ひとつ、よろしく願いいたします。

(鈴森課長) 以降の議題につきましては、文化財保護審議会条例第3条第2項の規定により、議長を大原会長をお願いいたします。

(4) 協 議 (議長 大原会長)

イ 令和4年度花巻市文化財関係事業報告について

(大原会長) それでは議題に入らせていただきます。(2) 令和4年度花巻市文化財関係事業計画についてお諮りいたします。事務局から説明をお願いいたします。

〔伊藤補佐、佐藤補佐から資料No.1-1を説明〕

〔鈴木課長から資料No.1-2を説明〕

〔質疑〕

(大原会長) 資料No.1-1、1-2について、委員の皆様から御意見を賜ります。木村副会長どうぞ。

(木村副会長) 青少年の神楽の件ですが、私の住んでいる小舟渡八幡宮には神楽があったのですが、高齢化してしまい無くなってしまいました。ほかの神楽さんもいろいろ後継者で苦勞されているようですが、9月の例大祭では、近くの伝承している神楽をお願いするのですが、そういう実態と青少年民俗芸能等について委員会さんで実態と継承についてのいい考えがありましたら、参考にしたいのですがいかがでしょうか。

氏子が10人いて、代々近くの下似内神楽や胡四王神楽で習っていた。私が氏子総代長をやって3年目ですが、みんな年だということで、笛はよくても太鼓はだめだとかで、基本的には胡四王神楽さんをお願いして祭りの時だけはやるのですが、本来町内5000世帯をまわって、伝統的な行事を自分たちのエリアの神社でやっていく方法。もっと踏み込みますと、神社の管理をどう次の世代に繋げるかなのです。任期4年で、任期が過ぎると次の世代に渡すのですが、課題がどんどん大きくなってしまい、今、最も危険なのは、大きな御神木のイチョウの木や杉の整備で、100万円かかる。そのお金を町内の皆さんで負担するものなのか神社庁さんに向け合っても全くらちがあかない問題です。

ほかにも、氏子の皆さんの小中学生ですが、特に中学生は部活で神楽を習うということにはなりません。下似内神楽は祭りの時に門付について歩くのですが、半分以上が女の子です。PTAさんは忙しくて神楽どころではないようです。私の段階だけでは、どうすることもできませんが、総合的な地域の民俗文化性みたいなものは、今の時代なかなか難しくなっているわけですが、あの地区ではこうやって一生懸命やっているよというような情報等がわかれば、私

たちも参考にして地域の方々に呼びかけをしてやってみたいなと思っ
ています。

コロナで地区の運動会はなくなり、盆踊りはなくなりで、何も
できないまま、ただただ世代が変わるっていくことに、もどかし
さを覚えているところです。そういう神楽の伝承について一生懸
命やっているというような情報を教えていただければ、勉強して
皆で考えていきたいと思っております。

(中嶋委員) 先ほどご報告いただきました毎年1月に予定している意見交換
会が残念ながら今年は延期になったのですが、そういうところで
みなさんから伺ったり、普段の調査の中で感じることをお話し
ます。芸能を維持するには横の繋がりが大事ですので、単体で維持
するのは難しいです。できれば、早池峰系であるとか、円万寺系
であるとか、もし系列がわかっているのであれば同じ系列の方々
と協力して笛だったり、太鼓だったり、舞手だったり、不測の事
態にお互い助け合うというシステムを持っていらっしゃるところ
は何とか継続できていると思います。よその団体に繋がりを持た
ない場合は、できる人がいないから参加できないという状況にな
ってしまうので、そういう意味では、他の団体さんとの歩み寄り
というのが今の世の中、必要不可欠ではないかなと思うので、そ
こを地元の団体さんにご確認いただければいいかと思ひます。

もう一つ重要だと思うのは、舞う練習をする場所があるかどう
かです。教える方は保存会の方とか、今まで舞っていた先輩の方々
とういのはいらっしゃると思いますが、困ることの一つが練習する
場所がない。特に、土日に練習できる場所。公民館あるいは学校に
協力していただければ一番いいのですが、学校は土日に開けていた
だくことが難しいとよく伺います。それに加えて、この2年間はコ
ロナ禍でしたので、人が集まること自体が難しいということでした。
ただ、それは徐々に緩和に向かうであろうと思ひますので、まずは
定期的に練習できる場所。土日や夕方以降に、子供たちや教える人
がフリーになる時間に使える場所があるかどうか。その確保を改め
て検討いただくというのが、一番いい道ではないかなと思ひます。

(佐藤教育長) 小舟渡の神楽は、花巻で言うと岳・大償など色々な系統がある
わけですが、どこ系統かわかりますか。

(木村副会長) 私もあまり詳しくないのですが、下似内の神楽の皆さんに手伝
ってもらったりしています。実は、下似内からうちの息子に嫁が来
たものですから、生まれた孫が一生懸命にお祭りのときには下似内

にいくので、向こうに引っ張られて、こっちに引っ張るのが大変でした。やはり興味がないと続かないので、子供たちがどう興味を持つかなんですけど、やはりフェスティバルなどをどんどん見に行く機会が必要だと思います。今年は胡四王神楽さんをお願いしようかなと話をしているところです。

あと、各地区で全く手つかずのお宮がたくさんあります。その辺も含めて、管理とお金の課題をもって地域おこしをするべきかなと思っています。小中の子供は本当に忙しくて、ほとんど土日はPTAが主体で、先生方はほとんどタッチしない状況です。というわけで、いい案があればと思っておりました。

(佐藤教育長) 少子化というのがまず一番の問題です。どこの保存会も郷土芸能団体も一番の問題はそこです。しかし、その中でもうまくやっている団体もあります。保存会組織が、地域をあげて全面的にバックアップする。子供たちがいなければだめですが、小舟渡については花巻小学校は小舟渡でもっているくらいなので、逆に言えば地域性をみんな求めているのではないかと思います。

その近隣でうまくやっている胡四王は、小さい子供たちにまず神楽(しんがく)を教え、その発表会を行っている。神楽(しんがく)の面倒をみてくれる方がいて、必ずお祭りなどの行事のときに、本当に小さい子供たちの神楽(しんがく)がある。そして次に神楽に入ってきて、男の子も女の子も関係なくやっている。それから、学校でやっているところだと、湯口中学校は、学校で神楽(しんがく)に取り組み、昨年全国の中文連の大会に参加しました。地域の方の指導を頂いて、神楽(しんがく)を学校中心にやっています。あとは北上では成田さん。あそこはスポ少でやっています。現在、学校の部活は必ず入らなければならないということがなくなってきています。それから、週末の土日のどちらかは必ず休まなくてはならない。平日も時間を決められており、昔、私たちが育った頃のような根性と長時間の部活ではなくなってきています。あと、たくさん郷土芸能がある大迫では学校が統合しまして、地域連携で喧々諤々と、内川目、外川目、亀ヶ森がそれぞれ、自分のところの郷土芸能を全部やってくれと言われても全部はできないので2つに絞って、亀ヶ森のさんさと大償のほうだと思いましたが神楽。それを小学校の部活動で取り組み、7月1日の学校の創立記念日かなにかで発表するというをやっています。相当時間はかかると思いますが、そういった形で、子供たちや地域の方々を中心となって行いながら、子

供たちの興味関心を高めて、地域皆で指導していく保存会システムが一番なのかなと思います。小舟渡には保護審の先生もいらっしゃいますので、ぜひ指導いただければうまくいくのではないのでしょうか。

(木村副会長) 言えばやってくれますかね。

(佐藤教育長) 確かに、子供たちは忙しいです。だから、お祭りに特化して、そこだけ集中的にやってみるとか、そこからでもいいと思います。

(木村副会長) そういうソフト面が充実しないと、神社経営は成り立たないです。地域に人たちが離れていってしまうので。例えば毎月第1日曜日の朝6時からPTAと合同で神社の境内の草取りをやっていきます。そして、大きなものはお祭り関係です。PTAの収入源にもなるので、協力しております。

(佐藤教育長) これからは、例えば自分のところの〇〇流〇〇神楽と残すよりは、例えば下似内の神楽もここ20年くらいかけてあそこまで来た。だから、そういったところとも交流があるとすれば、隣なので子供たちも一緒になって練習をしながら、中身は小舟渡八幡神楽でなくても、系統が同じであれば下似内の神楽と同じものでやっていく。別個ではなくて、グループでやっていくことが、これからは必要な気がします。神楽（しんがく）でもステージに上がれるので、そこが一番のスタートだと思います。

(大原会長) 子供たちも少なくなり、さらに子供たちを見ていると本当に忙しくて、じさまと遊ぶ時間がほとんどとれない、そんな時代になりました。まして、民俗芸能となると今お話があったように、学校単位ではなく、地域ぐるみで学校の区域を超えて交流していくというようなことを考えなければならない時代になってきているかもしれません。

(木村副会長) 花巻農学校の鹿踊りは非常にかわいいですね。

(大原会長) 話はずれますが、先日、花巻農業高校にいきましたら、心配なことができました。9月21日は賢治祭ですが、毎年鹿踊りをお願いしていたのですが、その時期が就職試験の当日にぶつかっていて、3年生に就職希望者が4人いて、その子たちが抜けると今年は部員が少なくて出演しかねますというような心配な話が出ました。ひとしきりの勢いがなくなったのかなというような気もして、心配しています。他に何かありませんか。

それでは、令和4年度花巻市文化財関係事業計画については、これで閉じさせていただきます。

続きまして、(3)花巻市指定天然記念物「奥州街道名残りの松」の現状変更等許可申請に係る報告について、ご説明をお願いします。

ウ 花巻市指定天然記念物「奥州街道名残りの松」の現状変更等許可申請に係る報告について

〔酒井文化財専門官から資料No.2を説明〕

〔質疑〕

(大原会長) 名残りの松の方に少し食い込む形で拡幅になったということですか。

(酒井専門官) 非常に道路が狭く、周辺には南城小中学校がありますので、特にも歩道を拡幅したいということで、それに伴う工事がございます。

(大原会長) 既に工事は済んでおりますが、このことについて、どなたかご質問等ございますか。よろしいですか。

では、次に移らせていただきます。(4)花巻市指定史跡「花巻城本丸跡」の現状変更等許可申請に係る意見について、ご説明をお願いいたします。

エ 花巻市指定史跡「花巻城本丸跡」の現状変更等許可申請について

〔橋本埋文係長から資料No.3を説明〕

〔質疑〕

(大原会長) ただいま令和4年度の調査予定案の御説明がございました。皆さんから御意見を賜ります。本年度の現状変更等許可申請について、審議会で内容を検討して問題がないとなれば、教育委員会議に諮るといふ段取りになります。よろしいですか。意見がないものとみて、承認いただきました。

それでは、その他に入りますが、事務局から何かございましたらお願いいたします。

(4) その他

(酒井専門官) 直接は文化財ではありませんが、ご相談を受けましたので皆様の意見を賜りたいと思います。

石鳥谷町にあります「宝城山長谷寺」、東国三十三観音巡りの3

番札所になっているお寺です。住職がだいぶ前にお亡くなりになりまして、そのあとは奥様が頑張っておられたのですが、今年の春に亡くなり、無住状態になっております。そこで、廃寺を考えている。しかし、3番札所ということと、この通りかわかりませんが、お寺としては平安時代、坂上田村麻呂に由縁する古いお寺であるということと、どのようにしたらいいのであろうかという、漠然とした相談を娘さんから受けましたので、保護審議会の先生方からご意見を伺ってみるという回答をしたところであります。

天台宗寺門派でご本尊は十一面観音さんです。これは宗派の本寺の方で引き取ることになっているそうですが、札所としてどうするか。コミュニティに相談して標柱を立ててもらっただけでもいいのかなと思うところもあります。文化財ではございません。

(中村委員) 実際には、今三十六観音ぐらいになっていて、みんなその古いほうがぼろぼろになっていて、何とか別当さんがいるところは、草を刈ったりして管理をしていますけども、すごい状態です。だから長谷寺なんかは今の段階ではまだいいほうですけども、実際にはすごいところがたくさんあるという現状です。それらをどうするかというのは非常に難しい問題があるので、やはり地域の人たちと相談してやらないと、1人2人では管理が出来ないので、地域全体で守るような形で話を持っていかないとなかなか難しいところはあると思います。ほとんどは廃寺になっています。別当さんがすぐ横に家があるところは何とか草刈りをしてやっていますけど、傾いたりしているところもあります。ただ、実際には、この間も少し歩いたら、令和3年に歩いている札が張られているところもありましたから、特にファミリー観光が一生懸命歩いて、ほとんどが花巻の人たちのようです。張っているのが下小舟渡、浮田でした。だから花巻の人たちが結構歩いているようですので地域の人たちに何とかは声掛けして、地域全体で守ってもらうような形にしてもらわないと、松林寺も含めて、草が茂っている状態がずっと続いていますので、あの辺一带を含めた形で地域の方々の話し合いが必要だと思います。

(酒井専門官) はい、ありがとうございます。コミュニティのほうにも相談をしてみたいと思います。檀家がほとんどないですし、いても年をとってどうしようもない状況です。曹洞宗だと思われていますが、天台宗系はなかなかないみたいですね。

調査をさせていただけるかどうかも含めまして、ちょっと 相

談させていただきます。

(大原会長) お寺さんのことになると、先般お寺で会合がありまして、その時に令和20年までには、全国のお寺さんの少なくとも4分の1は、檀家さんがあってもなくなるだろうという話が専らあります。そんなふうな時代なようです。住職そのものが本気にならないと、お寺さんがなくなるよという話をしました。ほかに皆さんのほうからありませんか。

(佐藤教育長) 先生方、ご専門のところ、こういう調査が必要だとか、こういう研究をやったほうがいいのか、何かありませんでしょうか。

(中嶋委員) 先ほどのお話も加えてなのですが、今たまたま川井村ですとか、古い祈祷所みたいなものを回って歩いているのですが、もう誰も使っていない祈祷所がたくさんあって、昔の修験山伏の祈祷所ですね。誰も使っていないけれども、草を刈って標柱が建っているんです。そうすると、見に行くんです。こうやって時代が過ぎて、私みたいに調査したいっていう人がいたときに、それが頼りになって、鍵がかかっている、中に入ることが出来なくても、標柱が立っていて、草が刈ってあるだけでも、すごく安心で、残っているんだなという場所を確認出来ました。ですので、そういう研究をしている人とか、あるいは、子供さん方が、夏休みの宿題とか、何かの研究とかと言って、地域の何かを調べるときに、結構役に立つので、もう本当に草刈り等はコミュニティの方にお願ひしなければならぬ部分だと思うのですが、ぜひ、立派な標柱を立てていただくと、そこが何なのかどんな場所なのか分かるだけで、随分周りの認識も違ってくるのではないかなというふうに感じましたので、ぜひ、こちらのお寺に限らず、お願ひできればなというふうに思います。あともう1点、やはり石鳥谷で、名前がわからないのですが、あんまり大きくない祈祷所なのですが、その中に、江戸時代の絵馬がたくさん入っているところがありまして、近くのお寺の住職さんが、そういうところがあるよと言って連れていってくれました。そしたら本当に古いものがあるよ、あとはもう朽ち果てているという状況でした。やはり花巻市内は、歴史地区なので、恐らくよその地域で、すごいそんなものがあるの？というところが、眠っていると思います。調査のたびに機会がございましたら、お知らせしたいなと思っておりますが、そういうところで管理をお願ひ出来たらなというふうに思います。以上です。

(5) 閉 会 (進行：鈴木課長)

(鈴木課長) 以上をもちまして、令和4年度第1回花巻市文化財保護審議会を閉会いたします。大変ありがとうございました。